

25日 金曜

ルカ



23:26 彼らは、イエスを引いて行く途中、いなかから出て来たシモンというクレネ人をつかまえ、この人に十字架を負わせてイエスのうしろから運ばせた。

23:27 大ぜいの民衆やイエスのことを嘆き悲しむ女たちの群れが、イエスのあとについて行った。

23:28 しかしイエスは、女たちのほうに向いて、こう言われた。「エルサレムの娘たち。わたしのことで泣いてはいけない。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのことのために泣きなさい。

23:29 なぜなら人々が、『不妊の女、子を産んだことのない胎、飲ませたことのない乳房は、幸いだ。』と言う日が来るのですから。

23:30 そのとき、人々は山に向かって、『われわれの上に倒れかかってくれ。』と言い、丘に向かって、『われわれをおおってくれ。』と言い始めます。

23:31 彼らが生木にこのようなことをするのなら、枯れ木には、いったい、何が起こるでしょう。」

23:32 ほかにふたりの犯罪人が、イエスとともに死刑にされるために、引かれて行った。

シモンは無理やりに十字架を背負わされましたが。このようなイエス様の様子を見て、十字架を負っていることが誇りに思えたでしょう。彼は後にイエス様を信じたようです。私たちも無理やりに負わされた十字架のような責任もあるかも知れません。そのときはイエス様のために負いましょう。

イエス様は、御自分が苦しみつつ死に向かっているにもかかわらず、エルサレムの人々のことを思っていました。神はさばき主でもありますが、愛の思

いを持ったさばき主であるのです。

どんなときにも変わらない神様の愛に信頼しましょう。またその愛に応えていきましょう。神様の愛が悲しまないように、正しい歩みをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

